

「農業の新しい技術」の公表について

平成30年度の農業研究センターにおける研究成果のうち、所得の向上や省力化等に大いに役立ち、現場への普及や応用研究への活用が確実に見込まれる成果を「農業の新しい技術」として次のとおり公表します。

1 新品種の開発と特性の解明

(1) 優良な褐毛和種（あか牛）種雄牛の選抜（3頭）

この度、以下の3頭の褐毛和種を選抜しました。

- ・「重波泉^{しげなみずみ}」はロース芯^{※1}面積が歴代最高の成績。
- ・「光玉重 E T^{みつたましげいーていー}」は、枝肉重量が極めて優れ、ばらの厚さ^{※2}にも優れている。
- ・「第二十二光重^{だいにじゅうにみつしげ}」は、非常に大型で体型に優れている。



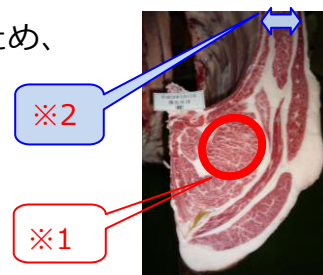
(2) 優良な黒毛和種種雄牛「久茂国」の選抜

「久茂国」は、熊本県として3年ぶりに選抜した黒毛和種種雄牛。

脂肪交雑^{※3}が歴代最高の成績で、ロース芯面積にも優れているため、全国に通用する優良な種雄牛として期待される。

※1 ロース芯、※2 ばらの厚さ…右図写真のとおり

※3 脂肪交雑…さしの入り具合



2 革新的な生産技術の開発

(1) イチゴ「ゆうべに」の畝連続栽培は、2 kg/10a 以下の基肥窒素量で収量・品質が安定する

(2) 飼料用米の育苗箱全量施肥栽培は、牛ふん堆肥の施用により収量が安定する

(3) 温州ミカン「熊本 EC11」はシートマルチ栽培により高品質な果実が生産できる

8月上旬からシートマルチを開始し、9月上旬までに水分ストレスを与えることで、収穫時（11月下旬）の糖度が、12.5（「熊本 EC11」のほぼ平均）以上と、高品質な果実を生産できる。

3 活用の方法

「農業の新しい技術」については、各地域振興局等の農業普及・振興課等を通じて農業者へ普及を図るとともに、HPにも掲載。

【お問合せ先】

農業研究センター企画調整部
企画情報課 坂梨、舛田
TEL: 096-248-6423

【ホームページ】



熊本県農業研究センター

検索